



朝風呂を楽しみに訪れる常連客も多い



筑紫野市武蔵財産区」が管を引き継いでいる。前中から、毎日のように地元住民でにぎわう。磯清純さん(71)もその一人。

「体の芯から温まり、いつまでも冷めない。一度入ると汗びっしょり」と魅力を語ってくれた。JR二日市駅から歩いておよそ10分。車でも、九州自動車道筑紫野インターチェンジから10分ほどで着く。地の利に恵まれていることから、市外から訪れるリピーターも多い。(津江秀晃)

〈情報〉アルカリ性単純温泉。午前9時〜午後9時。定休日は毎月第3水曜と元日。中学生以上200円、小学生以下100円。092・9288・1126
 〈見て・食べて〉近くの洋菓子店「ル・サントレ」空のステーションでは、温泉水を使ったプリンが人気。二日市中央通り商店街では毎月2日、地元の農産物などを販売する「二日の市」が開かれる。

やかにして、各所で活躍になる。白黒だけでなく、サッカーやバスケットのボールの模様を描いたものも。囲碁は、交互に石を置いて自分の陣地を作るゲーム。ふれあい囲碁は「相手の石を囲んで逃げ道をなくせば取れる」という基本的なルールだけを採用。どこに石を置いても良く、「先に石を三つ取ったら勝ち」「10分間で取った石が少ない方が負け」など、勝敗の決め方も自由だ。

団体戦用の碁盤を広げる谷川さん。「足が悪くて普段は歩かない高齢者が、碁石を置こうとして歩いてしまうことも、よくあります」(大分市で)

団体戦では、チームのメンバーが一人ずつ順番に石を置いていく。仲間と相談することもでき、競技が始まると「そこは危ない」などと盛り上がる。熱中するうちに、初対面の人も打ち解けられるそうだ。NPO法人のメンバーは谷川さんのほか、大学生や会社員、教員など20人。高齢者や障害者の施設、学校などを訪問しており、自治会やPTAなどから招かれることもある。谷川さんは「地域の団結力を強めてくれますよ」と力を込めた。



商品街

◆プレミアム大吟醸

山口県下関市の下関酒造が限定販売。春に搾った大吟醸で、フルーティーな香りと、さわやかな味わいが特徴。キンキンに冷やして食前酒にするのがお薦め。アルコール度数は17〜18度。720ml・瓶入り3000円。(0120・52・1877)



◆金魚ちょうちん リングノート

山口県柳井市の文具店「木阪賞文堂」で販売する、市の民芸品「金魚ちょうちん」を愛らしくデザインしたノート。金魚は赤、水色など5色、サイズはA6判、

A5判、B5判とメモ帳(赤色のみ)の4種類。ラジオ体操カードやクリアホルダーなどもある。150〜367円。(0820・22・0150)



◆ながさき極上梅しゃぼん

長崎市の技術情報商社「橋本商会」が販売する化粧用せっけん。和歌山県みなべ町から取り寄せた梅干しの種の粉末と、長崎県・五島列島産の天然塩を練り込んでおり、肌の保湿や殺菌効果があるとされるミネラルやクエン酸を豊富に含む。

1個4500円。同社の通販サイト「長崎ありが



とうございます」(<http://www.nagasaki39.com/shabon.html>)のほか、電話(0120・539・538)やファクス(095・821・3310)で注文を受け付ける。

◆超激辛明太子 辛皇 (ホットエンペラー)

明太子を日本で初めて作り出した福岡市の「ふくや」が発売。辛み成分であるカプサイシンの量が、同社レギュラー明太子の約13倍ある。230g(明太子160g、辛味ソース70g) 2100円。(0120・86・2981)



◆絶品とまとジャム

佐賀市の食品会社「ウイング」が製造、販売。佐賀県産トマトが原料。トマト本来の濃厚な味を楽

好きな盤意札をつ

のホーム -saga.c け付けて

◆鹿兒島屋が製造 納芋をカステラの生地にしっとりとした味わいを出した。1箱600円 23・2167 で注文を